

無意識のバイアスと そのインパクト

令和元年度 山梨大学男女共同参画推進室主催ダイバーシティマネジメント研修会

本講演では、今、話題になっている「無意識のバイアス」について紹介します。無意識のバイアスとは、「男だから、女だから」に始まって、人が、特定の社会集団、それは、ジェンダー、人種、宗教、障害の有無、性的指向等々、多岐にわたりますが、それらに対して持つ「固定観念」であり「偏見」のことです。そしてその固定観念が、どのようにジェンダーバイアスを引き起こすか、さらに、このバイアスが、科学、工学、数学、医学等、歴史的に男性が長く優位に立ってきた分野において、女性がトップリーダーを目指そうとすると、どれほどのひずみができるか、その事例を紹介したいと思います。採用・昇進や賞の選考に見られる無意識のバイアスについて、負のインパクトを軽減するために、私たちは、何ができるのか、一緒に考えたいと思います。



大坪 久子 氏

日本大学 薬学部薬学研究所 上席研究員
元日本大学 総合科学研究所教授(女性研究者支援推進ユニット長)

日時

令和元年6月12日(水)15:00~16:00

場所

甲府キャンパス:大村智記念学術館
医学キャンパス:管理棟2階小会議室

(医学部キャンパスはTV中継配信)

プログラム

- | | | |
|-------------|-------|---|
| 15:00~15:05 | 学長挨拶 | 島田 眞路(山梨大学 学長) |
| 15:05~15:10 | 講演者紹介 | 袖山 禎之(山梨大学 理事) |
| 15:10~15:50 | 講演会 | 大坪 久子氏(日本大学 薬学部薬学研究所 上席研究員)
「無意識のバイアスとそのインパクト」 |
| 15:50~15:55 | 質疑応答 | |
| 15:55~16:00 | 室長挨拶 | 風間 ふたば(山梨大学 男女共同参画推進室長) |

